

奥日光スノーシューハイク山行報告

【山行日】2025年 1月 19(日) 快晴

【集 合】栃木市運動公園 P AM 7:00

【費 用】マイカー1台 : 2,000円

【メンバー】CL: 鈴木ユ、SL 藤原ト、
飯野、佐藤、廣瀬ナ、吉田、

【コースタイム】栃木市運動公園 P7:00=湯元温泉
P8:15/8:45~金精道路 9:20~蓼ノ湖 9:30/9:40
~小峠 10:00~刈込湖 10:30/10:40~切込湖~
刈込湖 11:20/11:50~小峠 12:15~蓼ノ湖
12:40/12:50~金精道路 13:00~湯元温泉
P13:20/13:45=大谷 PA14:20/14:30=栃木市運動公園 P15:00



スノーシューを体験したいというリクエストがあり、奥日光湯元から刈込湖へのコースを計画した。栃木市運動公園を7:00に出発し、東北道から日光宇都宮道路を進みイロハ坂を走るが、道路に雪



が全く無い。中禅寺湖畔から戦場ヶ原の道路にも雪は無く、スタッドレスタイヤでなくても湯元まで走れる。湯元の駐車場に車を止め、トイレを済ませ出発の準備を整えたら出発する。駐車場を出て道路を歩き、湯元温泉源泉地を通って刈込湖登山口でスノーシューを付ける。雪の斜面を九十九折れに登ると金精道路に出て、ここから刈込湖へのルートが始まる。夏道は右側の斜面に沿って進むが、冬は左に急坂を下って谷間を進む。樹林帯の中を登り少し下ると蓼ノ湖に出て、

湖畔に沿って進み北岸で小休止して衣服調整を行う。ミズナラなどの間に付けられたトレースを緩やかに登って行き、小峠への急な登りが始まる。スノーシューの下に付いている歯を雪面にしっかり打つように登り、ストックで体を押し上げると楽に登れる。小峠に登り着いたら休憩し、水分を補給して疲れた足を休める。ここからも夏道は右の斜面を巻くように進むが、雪のルートは直進して谷間を進む。しばらくは平坦な林の中を進み、スノーシューで自由に歩けとても楽しい場所である。やがて針葉樹の薄暗い谷間を下るようになり、急な段差で足を取られ尻もちをつく人もいた。下り切ったら緩やかに登り返し、小高い丘を下ると刈込湖畔に出る。広く真っ白な雪原が広がり、真っ青な空とのコントラストが美しい。



皆さん大喜びで雪原に寝ころび、自分の型を作ってはしゃいでいた。

記念写真を撮り、余りに良い天気なので刈込湖を1周することにする。ザックをデポして刈込湖南岸



に付けられた夏道まで上がり、夏水戸を東に向かって歩いて行く。トレースはしっかり付いていて楽しく歩いて行くが、刈込湖手前から刈込湖に下降する箇所にトレースが無かった。刈込湖北岸へ歩いた様子が無く、下降点も見当たらないので来た道を引き返した。刈込湖まで戻ると大勢が昼食休憩中で、良く見るとマロニエハイキングクラブの皆さんだった。

挨拶して言葉を交わし、我々も湖畔に腰を下ろしランチタイムとする。お湯を沸かしてカップ麺

やスープを作り、おにぎりやパンをいただく。絶景を眺めながらいただくランチは格別に美味しく、スノーシュー初体験の S 藤さんはとても楽しそうだった。ランチが済んだら湖畔で記念写真を撮り、往路を戻って下山開始する。

来た道を戻るので皆さん余裕が出て、あっちこっちスノーシューで自分のトレースを付けて行く。小峠まで戻って休憩し、ここからは急坂を下るので転倒しないよう注意する。

慎重にゆっくり下って無事下り切り、蓼ノ湖北岸で最後の休憩を取り足を休める。ここからは軽快に歩いて行き、金精道路に登り返して下り、刈込湖登山口に着いたらスノーシューを外す。ここから温泉寺の方へ回って帰り、無事湯元駐車場に戻った。靴を履き替えトイレを済ませたら車に乗り、帰路に着く。

冬晴れのスノーシュー日和に恵まれ、帰路の戦場ヶ原や中禅寺湖畔の景色も素晴らしい。

いろは坂や日光宇都宮道路も順調に走り、途中大谷 PA に寄って買い物とトイレを済ませ予定より早く栃木市運動公園に帰着した。

